令和7年度　2学期終業式式辞　　R7.12.23

2025年の漢字は「熊」でした。熊の出没が日本各地で話題となった1年でした。あと1か月あまりで、中国に返還されてしまう、大熊猫（パンダ）のニュースも話題となっています。

皆さんが考える今年の漢字は何でしたか。

私が考えた今年の漢字は、「発」です。発声、発想、発見、発起、発信、、、そして発進。袋井南中学校では、さまざまな「発」が生まれました。

令和7年度は、袋井南中学校が51年目を迎え、新しい時代へと歩み出した年です。次の60周年、100周年に向けて、確かな一歩を踏み出した一年でもありました。

「今年一番の暑さ」という言葉とともに始まった79日間の2学期も、今日で一つの区切りを迎えます。ここで、「発」という視点から、2学期を振り返ってみましょう。

まず思い浮かぶのは、南風祭です。

合唱の部では、皆さんの発声にクラスの思いと努力が込められていました。練習の段階から、心を動かされるものがあり、本番では、その思いが確かな感動となって体育館いっぱいに広がりました。

午後の芸の部では、思い切り力を発散させながら、友達とともに一つの空間を創り上げていました。歌やダンス、コントを通して、自分でも気づいていなかった才能を、これまで気付かなかった友達のよさを発見した人もいたことでしょう。

「I am Me」～自分たちらしく～　「MAKE US EXCITED」～みんなでワクワクしよう～

その言葉どおり、南中生一人一人が輝いた時間でした。

南風祭実行委員会や South Dream 実行委員会は、自ら発起し、「みんなが楽しめるために何ができるか」を考え続けてくれました。その行動は、周囲の人を思う気持ちにあふれ、ウェルビーングの向上を形で示してくれました。

生徒会活動も、前期から後期へと引き継がれました。「Let’s have fun!～“今”をみんなで～」のもとで成果を積み重ねた3年生の思いを受け継ぎ、2年生が中心となって「Create the best memory～みんなが主役～」に向かって、自分たちらしい発信を始めています。袋井南中学校の新しい流れが、ここからさらに広がっていくことを期待しています。

総合的な学習の時間では、皆さんの豊かな発想が光りました。

1年生の防災グッズの発明、2年生の100円均一商品開発では、「あったらいいな」が具体的な形として示されていました。皆さんのアイデアが商品化され、本当に社会に発信される日が来るかもしれません。

3年生の「みんなが幸せになるまちづくり」では、地域の方々と協働し、よりよい社会を目指して主体的に行動しました。利用する人、参加する人の立場に立って考える姿は、まさに「人のために発する力」が育っている証でした。

こうした一つ一つの活動を通して、皆さんは、「誰かに言われたから動く」のではなく、「自分から動く力」を身につけてきました。それこそが、「発」の本当の意味だと思います。

番外編になりますが、この2学期は、流行病による発熱などで、つらい思いをした人もいましたね。だからこそ、健康であること、学校に通えること、仲間と過ごせることの大切さを、改めて感じる機会にもなったのではないでしょうか。

明日から冬休みに入ります。令和8年は、待っているだけでは始まりません。皆さん一人一人が、自分の思いを、自分の言葉で、自分の行動で「発」するところから、新しい年は動き出します。規則正しい生活を心がけ、心と体を整え、袋井南中学校として、令和8年の新たな出発を、みんなで元気に迎えましょう。